

琉球大学学術リポジトリ

資料等

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学グローバル教育支援機構 公開日: 2021-05-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/48516

2019年度 大学教育センターFD・SD一覧

No.	タイトル名等	対象者	開催日時等	参加者数	概要
1	全学学士教育プログラム委員会	学士教育プログラム委員会委員、関係教職員	定例開催による隔月第一水曜14:40～16:10（全6回開催）	延べ222名（1回あたり37名）	URGCC導入8年目にあたる令和元年度は、以下の3つを柱として取り組んだ。 1 学生の学修成果の客観性・厳格化の確保 2 教育カリキュラム・内容の改善 3 教職員の資質向上 【発行物】 ・URGCC琉球大学学士教育プログラム（令和2年度版） ・FDブックレット ・FDガイド（第1巻シラバス編、3巻3つのポリシー編）改訂版
2	全学大学院教育プログラム委員会	大学院教育プログラム委員会委員、関係教職員	定例開催による隔月第一水曜14:40～16:10（全5回開催）	延べ153名（1回あたり約31名）	平成28年度から開設された本委員会において令和元年度は、以下の2つを柱として取り組んだ。 1 教学マネジメントの確立 2 URGCC-Advancedを基本として基礎的要素と学際的な分野への対応能力も含めた専門的知識を修得する教育カリキュラム構築
3	「シラバス作成の基本」について	①過去3年以内に新任教員研修に参加していない教員 ②平成30年度シラバスレビューに参加していない教員 ③令和元年度シラバスレビューやその一環である学部FDに参加していない、あるいは参加する予定のない教員	9月27日（金）10:10～10:50（40分）	14名	各教員がシラバスを熟知する（シラバス作成は義務であり、教員にとって便利のように開発されたツールでもあることを理解する）ことで、使い勝手の良いシラバス作成を支援する。
4	「アクティブラーニングの基本」について	平成30年度グローバル教育支援機構FDに参加していない教員	9月27日（金）11:00～11:40（40分）	14名	本学におけるアクティブラーニング実践を支援する。
5	出前FD「シラバスの書き方」	農学部教員／理学部化学系教員	6月26日（水）／9月24日（木）	48名／16名	「シラバスの書き方」について、現場の声も聞きながら支援する。